

專 門 基 礎 分 野

専門基礎分野のねらい

専門基礎分野は、看護学を学ぶ上で基礎となる「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」「健康支援と社会保障制度」の3つの教育内容から構成している。

『人体の構造と機能』

形態機能学は、病態の理解や日常生活行動を援助する看護技術の土台になる科目である。動く、食べる、息をする、トイレに行く、お風呂に入る、見る・聞く・話すなどの生活行動は、すべてからだのはたらきの上に成立っている。からだをどのように成し遂げているのかを理解することが、看護実践や看護学にとっては必要である。そこで、日常生活行動そのもののしくみを看護の枠組みで理解できるように「形態機能学Ⅰ～Ⅴ」を学習する。

生化学では、日常生活を営む上での生物学的生命の保持および、看護に必要な物質代謝と遺伝の仕組みの基礎を学習する。

『疾病の成り立ちと回復の促進』

人体の構造と機能が障害された原因や誘因を学び、治療や回復過程を理解する基礎として、「疾病の発生と病理的变化」「感染症と微生物」について学習する。

そして、人間のからだの主な機能別に代表的な疾病とその治療について「疾病と治療Ⅰ～Ⅳ」を学習する。さらに疾病に対する治療としての、放射線治療、手術療法および麻酔、食事療法、リハビリテーション療法について「治療論Ⅰ～Ⅱ」を学習する。また、疾病によって生じるからだの影響は、臨床検査結果からも知ることができる。からだをアセスメントしていくときに必須となる臨床検査に関する基本的な知識についても学習する。

『健康支援と社会保障制度』

人間を生活者としてとらえ、その人にとって意味のある支援が提供できるよう、保健医療福祉に関わる基礎的知識として、「公衆衛生と健康支援」「医療と倫理」「社会保障と制度」「社会福祉活動」「医療と法律」「看護と医療過誤」を学習する。

専 門 基 礎 分 野

【目 的】

- 1 日常生活行動を、からだはどのようなしくみで行っているのか、また構造や機能が障害された時、どのような変化があるのかを学び、看護ケアにつながるよう理解する。
- 2 保健医療福祉に関わる基礎的知識を学び、看護の理解に役立てる。

【目 標】

- 1 人体の正常な構造と機能を学び、看護ケアに必要な日常生活行動のしくみと意味を理解する。
- 2 人体の構造や機能が障害された時の人体の変化と、回復過程を理解し、日常生活行動への影響を考えることができる。
- 3 保健医療福祉に関する基本概念、関係制度、関係する職種の役割を学び、連携・協働の必要性について理解する。
- 4 人々が生涯を通じて、健康や障害の状態に応じて社会資源の活用を支援できるよう、基礎的知識を養う。

【構成および計画】

	科 目 (授業科目)	単位数	時間数	学年別計画時間		
				1年	2年	3年
人体の構造と機能	形態機能学Ⅰ(生命維持のしくみ)	1	30	1(30)		
	形態機能学Ⅱ(恒常性維持と生体防御機構)	1	30	1(30)		
	形態機能学Ⅲ(日常生活行動に関わる身体の構造と機能)	1	30	1(30)		
	形態機能学Ⅳ(食事・排泄行動、性機能に関わる身体の構造と機能)	1	30	1(30)		
	形態機能学Ⅴ(日常生活行動に関わる身体・生理機能の測定)	1	30	1(30)		
	生化学	1	30	1(30)		
	計	6	180	6(180)		
疾病の成り立ちと回復の促進	疾病の発生と病理的变化	1	30	1(30)		
	感染症と微生物	1	30	1(30)		
	疾病と治療Ⅰ(呼吸器・循環器・腎泌尿器の疾病と治療)	1	30	1(30)		
	疾病と治療Ⅱ(自己免疫・内分泌代謝・消化器の疾病と治療)	1	30	1(30)		
	疾病と治療Ⅲ(脳神経・運動器の疾病と治療)	1	30		1(30)	
	疾病と治療Ⅳ(感覚器・血液リンパ・女性生殖器の疾病と治療)	1	30	1(30)		
	薬理学	1	30	1(30)		
	治療論Ⅰ(放射線・手術と治療)	1	30		1(30)	
	治療論Ⅱ(栄養学・リハビリテーション)	1	30		1(30)	
計	9	270	6(180)	3(90)		
健康支援と社会保障制度	公衆衛生と健康支援	1	15		1(15)	
	医療と倫理	1	15			1(15)
	社会保障と制度	1	15		1(15)	
	社会福祉活動	1	15			1(15)
	医療と法律	1	15			1(15)
	看護と医療過誤	1	15			1(15)
	計	6	90		2(30)	4(60)
合 計	21	540	12(360)	5(120)	4(60)	

科目 形態機能学Ⅰ（生命維持のしくみ） 1単位（30時間）

科目目標：1 日常生活行動と生物学的生命の関連を看護の視点から理解する
 2 生命維持のしくみをふまえ、人間の身体の構造と機能の基礎を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
形態機能学概観	2	看護の視点から日常生活行動の意味を考え、形態機能学の概観が理解できる	1 看護モデルと医学モデルの違い 1) 日常生活行動の視点 2) 専門用語と日常語の照合と変換 2 体の中のイメージ 3 個体を外界から区別するもの—皮膚 1) 皮膚機能 4 内部環境の恒常性 1) 体液の分類と量 2) 外部環境と内部環境 5 体液の区分と移動 1) 膠質浸透圧 2) 体液の電解質	専任教員
からだの基礎知識	10	1 人間の身体の構造と機能の基礎を理解できる 2 細胞と組織の構造と機能が理解できる	1 構造からみた人体 1) 解剖学的正常位と方向用語 2) 人体の部位を示す用語 3) 人体の面と断面 4) 人体内部の腔所 2 機能からみた人体 1) 生命維持システム 2) 運動・調節システム 1 細胞と組織の発生・発達・老化 2 人体の素材としての細胞・組織 1) 細胞の構造 細胞内小器官・細胞骨格・核 2) 細胞を構成する物質とエネルギーの生成 3) 細胞膜の構造と機能 4) 細胞内情報伝達 (1)イオンチャンネル型受容体 (2)代謝調節型受容体 4) 細胞の増殖と染色体 3 分化した細胞がつくる組織 1) 上皮組織 2) 結合組織 3) 筋組織 4) 神経組織	医師
専任教員 保健師、助産師又は看護師として5年以上業務に従事し、専任教員として必要な研修を修了した者又は看護師の教育に関し、これと同等以上の学識経験を有すると認められる者等				

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
内部環境の恒常性	4	内部環境の恒常性と維持機構が理解できる	1 内部環境の恒常性と維持機構 1) 体液とホメオスタシス 生体恒常性(ホメオスタシス)の維持機構 2) ホメオスタシスの失調 2 体液の構成 1) 体液の区分と組成 (1) 細胞内液 (2) 細胞外液(血漿・間質液) (3) 体液の電解質 3 血漿の pH 1) 酸と塩基(水素イオン濃度) 2) 酸塩基平衡の異常と代謝	
物質の流通	12	調節機構としての物質の流通機構が理解できる	1 流通の媒体ー血液 1) 血液の成分と機能 (1) 血液の成分 (2) 血液の物理化学的特性 (3) 血液の働き (4) 造血と造血因子 2) 止血機構 (1) 血液凝固 (2) 線維素溶解 2 流通路ー血管・リンパ管 1) 血管の構造 (1) 動脈 (2) 静脈 (3) 毛細血管 2) 肺循環と体循環 3) 門脈系 4) 脳循環 5) 冠循環 6) リンパ、リンパ管の構造と循環 7) 末梢循環の調節 3 流通の原動力ー心臓・血圧 1) 心臓の構造と機能 2) 刺激伝導系 3) 心機能の調節	
まとめ・試験	2			

科目 形態機能学Ⅱ (恒常性維持と生体防御機構) 1 単位 (30 時間)

科目目標：恒常性維持のための調節機構と生体の防御機構について理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
神経性調節	10	調節機構としての神経性調節が理解できる	1 自律神経による調節 1) 自律神経の構造と機能 2) 神経伝達物質と受容体 2 神経系の構造と機能 1) 神経細胞と支持細胞 2) ニューロンでの興奮の伝導 3) シナプスでの興奮の伝導 4) 神経系の構造 (1) 中枢神経 (2) 末梢神経 3 脊髄の構造と機能 4 脳の構造と機能 5 脊髄神経の構造と機能 6 脳神経の構造と機能 7 脳の高次機能 8 運動機能と下行伝導路 9 感覚機能と上行伝導路	医師
液性調節	8	調節機構としての液性調節が理解できる	1 内分泌系による調節 1) ホルモン作用機序 2) 全身の内分泌腺と内分泌細胞 3) ホルモン分泌の調節 4) 恒常性維持のためのホルモンの働き (1) 体液量の調節 (2) 代謝速度の調節 (3) 蛋白合成の促進 (4) 血糖の調節 (5) 血中ナトリウム・カリウムの調節 (6) 血中カルシウムの調節	
生体防御機構	10	生体の防御機構について理解できる	1 非特異的生体防御機構：自然免疫機構 1) 皮膚・粘膜の構造と防御機構 2) 食細胞とサイトカイン 3) 生体防御の関連臓器 胸腺・脾臓・リンパ組織 2 特異的生体防御機構：獲得免疫機構 1) 免疫系の細胞 2) 抗原と抗体 3) 補体 4) 液性免疫と細胞性免疫 5) アレルギー反応 6) 血液型 7) 組織適合抗原 (HLA)	

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
まとめ・試験	2		3 体温調節 1) 体温のなりたち 2) 核心温度と外殻温度 3) 体温調節 (1) 熱放散と熱産生 (2) 体温調節中枢	

科目目標：日常生活行動に必要な身体各部の構造と機能を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
日常生活行動 動く	2	1 日常生活行動の中で動くということの意味を理解できる	1 日常生活行動 1) 動く (1) 「動く」が日常生活行動に与える影響 (2) 神経のネットワークと骨格筋の発達 2) 姿勢 (1) 体位と構え (2) 赤ちゃんが歩くまで (3) 立位の保持	専任教員
	6	2 動くために必要な骨・関節・筋肉の基本構造と働き、伝達経路を理解できる	1 動くために必要な骨・関節・筋肉の構造と機能 1) 神経から筋への指令と筋の収縮 (1) 運動ニューロンと筋収縮のメカニズム (2) 活動電位とカルシウムイオン 2) 意図的でない運動－反射 (1) 反射のメカニズムと中枢 (2) 反射と防衛行動 3) 意図的な運動－随意運動 (1) 随意運動のメカニズムと中枢 4) 骨格・骨格筋・関節 (1) 骨格 ①骨形成と全身の骨格 (2) 関節 ①関節の種類と構造 (3) 骨格筋 ①骨格筋の働きと名称 ②関節運動 ③関節可動域	医師
	4	3 日常生活に関連する体の動きを理解できる	1 日常生活での基本的動き 1) 歩く (1) 動こうとする意思 (2) 歩行のサイクル (3) 歩行に使われる関節の動きと筋肉の働き (4) 運動の統合 2) つまむ (1) 屈曲と対向 (2) 「つまむ」に関する支配神経と筋肉 3) 表情 (1) 表情筋と支配神経 (2) 情動と表情	専任教員

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
日常生活行動 息をする	8	呼吸のしくみと働き を理解できる	1 日常生活行動 息をする 1) 息を吸う・息を吐く (1) 呼吸器の構造と機能 ①上気道 ②下気道と肺 ③胸膜・縦隔 (2) 呼吸運動 ①呼吸のメカニズム ②呼吸筋 ③呼吸運動の神経支配 ④呼吸運動の調節 (3) 肺気量 2) ガス交換 (1) 外呼吸と内呼吸 (2) 血液によるガスの運搬	
日常生活行動 見る 聞く 話す	4	見る・聞く・話すに必 要な器官と機能につ いて理解できる	1 日常生活行動 見る・聞く・話す 1) 見る (1) 眼球・眼球付属器 (2) 眼筋と支配神経 (3) 瞳孔反射、光量調節と動眼神経 (4) 視覚情報と中枢の働き 2) 声を出す (1) 言葉に関する脳の発達と中枢 (2) 発声器官と構音運動 3) 聞く (1) 感覚器としての耳の構造と聴覚中 枢 4) 言語活動の成り立ち (1) カテゴリー化と表現化 (2) 聴覚中枢とコミュニケーション (3) 言語中枢の障害と失語	
日常生活行動 眠る	2	睡眠のメカニズムに ついて理解できる	1 日常生活行動 眠る 1) サーカディアンリズム基礎的な休息・ 活動周期 2) 睡眠と体温と各種ホルモン分泌の関連 2 眠り 1) 眠りと意識障害の違い 3 睡眠の生理 1) 睡眠のメカニズム 2) レム睡眠・ノンレム睡眠の機能とその 特徴 3) 同調因子と時差ボケ 4 睡眠と生活・環境の関連	

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
日常生活行動 お風呂に入る	2	皮膚の構造と機能、 温熱刺激が身体に及 ぼす影響を理解でき る	1 日常生活行動 お風呂に入る 1) 皮膚の組織構造 (1) 表皮 (2) 真皮 (3) 皮下組織 2) 皮膚の付属物 (1) 毛 (2) 爪 (3) 皮膚腺 3) 皮膚の機能 4) 皮膚と粘膜 5) 温まる (1) 皮膚の温点と冷点 (2) 自律神経	
まとめ・試験	2			

科目 形態機能学Ⅳ（食事・排泄行動、性機能に関わる身体の構造と機能） 1単位（30時間）

科目目標：1 日常生活行動にかかわる食事・排泄行動について理解する
2 性機能に関わる身体の構造と機能について理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
日常生活行動 食べる	6	人間は、食べるという日常生活行動を体のどの器官を使いどのように遂行しているか理解できる	1 日常生活行動 食べる 1) 食欲 (1) 摂食中枢と満腹中枢のはたらき (2) 血糖値 (3) 消化管ホルモン (4) 体液量と渇中枢の関連 2) 食行動 (1) 食物を口まで運ぶ (2) 骨・筋肉・神経系のはたらき (3) 食物の性質の判断 (4) 感覚情報と大脳辺縁系のはたらき (5) 口の準備 (6) 脳神経と顔面筋・舌のはたらき・唾液腺 3) 咀嚼し味わう (1) 歯の構造と歯列 (2) 咀嚼筋 (3) 唾液と消化酵素 (4) 味細胞と味中枢 (5) 嗅覚、味覚と神経支配 4) 飲み込む (1) 嚥下の段階 ①第1～3相（口腔相・咽頭相・食道相） ②先行期・準備期・口腔期・咽頭期・食道期 5) 消化と吸収 (1) 機械的消化と化学的消化 (2) 消化器系の各部の名称とつながり (3) 食道・胃・腸管・腹膜の構造 (4) 消化管壁の構造と蠕動運動 (5) 消化液の作用 (6) 消化腺と消化酵素 (唾液腺・舌・胃腺・腸粘膜)	専任教員
肝臓・膵臓・胆 嚢の働き	4	食べるにかかわる肝臓・膵臓・胆嚢の働きが理解できる	1 肝臓・膵臓・胆嚢の機能 1) 消化腺と消化酵素 2) 消化液分泌の調節 (1) 自律神経とホルモン 3) 吸収後の栄養分のゆくえ 4) 肝臓の働き (1) 代謝、解毒・排泄、胆汁生成、貯蔵	

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
日常生活行動 トイレに行く	12	人間は、トイレに行くという日常生活行動を体のどの器官を使い、どのように遂行しているか理解できる	1 日常生活行動 トイレに行く 1) 排尿行動 (1) 尿意 ①膀胱の構造と膀胱内圧 ②膀胱の神経支配 ③尿意と我慢できるしくみ (2) 排尿 ①排尿路(尿道)の構造 ②排尿中枢と排尿反射 ③蓄尿と排尿に関わる神経支配 (3) 尿の生成 ①腎臓の構造と機能 ②ネフロンの構造と機能 ③尿生成(濾過・再吸収・分泌) (4) 体液量調節の機構 ①レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系 ②抗利尿ホルモン 2) 排便行動 (1) 便意 ①結腸から肛門までの構造と名称、便塊の状態 ②結腸の自律神経支配 ③便意のしくみ (肛門周囲の筋肉と直腸内圧) ④便意と我慢できるしくみ (2) 排便 ①排便反射と胃-結腸反射 ②排便に関わる神経支配	専任教員
性のしくみ	6	人間の性のしくみを理解できる	1 人間の性を決定するしくみ 1) 染色体 ①常染色体 ②性染色体 2) ホルモン (1) 性腺の分化 (2) 外生殖器の分化 (3) 脳の性分化 3) 性腺の発生と分化 4) 性の分化異常 2 生殖器の構造と機能 1) 男性生殖器 (1) 精巣と精路 (2) 精子の形成 2) 女性生殖器 (1) 内性器・外性器・乳房 (2) 性周期と性ホルモン 3 受精と胎児の発生 1) 生殖細胞と受精 2) 初期発生と着床	
まとめ・試験	2		3) 胎児と胎盤	

科目 形態機能学Ⅴ（日常生活行動に関わる身体・生理機能） 1単位（30時間）

科目目標：1 解剖見学により人体の主要な臓器の構造を理解する
 2 生理学的指標の測定を通して、日常生活行動に関わる身体・生理機能をアセスメントする

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
主要臓器の観察	4	解剖見学を通して人体の主要な臓器の構造を理解できる	1 主要臓器の構造・位置関係 1) 脳・脊髄 2) 心臓 3) 大動脈・頸部 4) 肺 5) 胃・腸 6) 肝臓 7) 膵臓・十二指腸 8) 腎臓 9) 骨盤内臓器 ＊解剖見学	医師
日常生活行動に関わる身体・生理機能	24	生理学的指標の測定を通して、健康な人の日常生活行動に関わる身体・生理機能の働きがアセスメントできる	1 日常生活行動と身体生理機能の関連性 1) 運動負荷による流通機構の変化 (1) 血圧 (2) 心電図 (3) 脈拍数 (4) 呼吸数、SpO ₂ 2) 日常生活行動「食べる」 (1) 血糖測定 (2) 食べる動作に必要な関節可動域の測定 3) 日常生活行動「トイレに行く」 (1) 尿量・尿比重・pH・尿糖・尿蛋白測定 (2) 飲水による尿量および尿比重の変化 (3) 排泄動作に必要な関節可動域の測定 4) 日常生活行動「息をする」 (1) 酸素、二酸化炭素の組成 大気・呼気 (2) 肺活量測定 胸部・腹部の圧迫と運動負荷による呼吸への影響 5) 日常生活行動「見る・聞く」 (1) 視覚遮断、聴覚遮断 視野検査、対光反射 (2) 骨伝導、気伝導 (3) 平衡機能の測定	専任教員
まとめ	2			

科目 生化学 1単位 (30時間)

科目目標：1 日常生活を営む上での生物学的生命の保持と看護に必要な生化学の基礎を理解する
2 看護に必要な物質代謝と遺伝のしくみの基礎を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
生命の保持と 生化学の基本	4	生命の保持と生化学 の基本が理解できる	1 生命の保持と生化学の基本 1) 健康・病気と生化学 2) 生物の特性とその構成成分 3) 細胞を構成する細胞内小器官 4) 生体構成成分 5) 物質の主な生理的役割	
物質代謝	20	物質代謝について理 解できる	1 糖質代謝 2 脂質代謝 3 アミノ酸・蛋白質代謝 4 核酸・ヌクレオチド代謝 5 ビタミンの役割と特徴 6 ホルモンの分類と作用 7 水と無機物 1) 水の性質、生理的役割、体内分布 2) 水分の摂取と排泄、水分調節 3) 脱水、浮腫 4) 酸塩基平衡 5) 体内の無機物質 8 酵素の役割と反応 1) 酵素とは 2) 酵素の性質と分類 3) アイソザイム 9 臓器の生化学	
遺伝のしくみ	4	遺伝のしくみについ て理解できる	1 遺伝子と遺伝情報 1) DNA の構造と複製 2) タンパク合成 3) ゲノムと遺伝子 4) 染色体の複製と有糸分裂	
まとめ・試験	2			

科目 疾病の発生と病理的变化 1単位 (30時間)

科目目標：1 疾病の原因と身体内部の病理的变化を理解する
2 生命の危機状態に至る身体内部の変化と死の徴候を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
疾病の発生と 病理的变化	24	疾病の原因と身体内部の病理的变化を理解できる	1 疾病概論 1) 疾病の原因 (1) 内因・外因 (2) 生活習慣 (3) ストレス 2 疾病の成り立ちと回復 1) 細胞の障害 (1) 萎縮 (2) 変性 (3) 肥大 (4) 壊死 (ネクロシス) とアポトーシス (5) 創傷とその治癒 3 基本的な病変とその機序 1) 循環障害・臓器不全 2) 炎症・損傷 3) 免疫異常 (アレルギー、自己免疫疾患) 4) 内分泌・代謝障害 5) 廃用症候群 6) 老年症候群 7) 先天異常 (遺伝子異常) 8) 腫瘍 9) 中毒・放射線障害	医師
生命の危機状態に至る身体内部の変化	4	生命の危機状態に至る身体内部の変化と死の兆候を理解できる	1 生命の危機 1) ショック 2) DIC・MOF 3) 火傷・熱傷 4) 死の兆候	
まとめ・試験	2			

科目 感染症と微生物 1単位 (30時間)

科目目標：1 病原微生物が人体に及ぼす影響と生体防御機構、感染予防について理解する
 2 感染症の特徴・臨床症状・診断・治療について理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
感染症総論	10	微生物が人体に及ぼす影響と生体防御機構、感染予防について理解できる	1 人と病原体の関わり 2 感染源と感染経路 3 生体の防御機構 1) 自然免疫 2) 獲得免疫 4 感染症の予防 1) 消毒・滅菌 2) 予防接種 5 感染症の検査と治療 6 感染症対策 1) 新興・再興感染症 2) 市中感染・院内感染 3) 日和見感染症 4) 薬剤耐性 (AMR) 5) 感染症対策	
微生物学と 感染症各論	18	感染症の特徴・臨床症状・診断・治療について理解できる	1 微生物とは 2 主な感染性微生物 1) 細菌 2) 真菌 3) 原虫・寄生虫 4) ウイルス 3 感染経路と潜伏期間 4 臨床症状、診断と検査 5 主な微生物と感染症 1) 細菌感染症 (1) ブドウ球菌 (2) 大腸菌 (3) レジオネラ (4) 結核菌 2) 主なウイルスと感染症 (1) 肝炎ウイルス (2) インフルエンザウイルス (3) 麻疹ウイルス (4) ヒト免疫不全ウイルス 3) 真菌感染症 4) プリオン	
まとめ・試験	2			

科目 疾病と治療 I 1 単位 (30時間)

科目目標：呼吸器・循環器・腎泌尿器系の代表的な疾病の病態生理と治療を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
呼吸器の疾病 と治療	10	呼吸器系に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる	1 呼吸器の疾病 1) 炎症性疾患 (気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎) 2) 肺結核 3) 気管支喘息 4) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 5) 腫瘍 (肺がん、中皮腫) 6) 気胸 7) 肺循環障害 (肺高血圧、肺塞栓症) 2 検査と治療 1) 気管支鏡 2) 肺生検 3) 胸腔穿刺	医師
循環器の疾病 と治療	10	循環器系に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる	1 循環器の疾病 1) 虚血性心疾患 2) 不整脈 3) 心不全 4) 心タンポナーデ 5) 血圧異常 6) 心臓弁膜症 7) 先天性心疾患 8) 心筋症 9) 閉塞性動脈硬化症 10) 大動脈瘤・大動脈解離 11) 静脈瘤・静脈血栓症 12) ショック (心原性、出血性、血流分布異常性) 2 検査と治療 1) 心臓カテーテル法 2) 経皮的冠動脈形成術 (PCI) 3) 冠動脈バイパス術 (CABG) 4) 大動脈内バルーンパンピング (IABP) 5) ペースメーカー・植え込み型除細動器 6) 弁置換術 7) 血栓溶解療法・血栓除去術	

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
腎泌尿器の疾病と治療	8	腎泌尿器系に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる	1 腎泌尿器の疾病 1) 腎不全と慢性腎臓病 (CKD) 2) 炎症性疾患 (腎盂炎、膀胱炎) 3) 腫瘍 (腎がん、尿管がん、膀胱がん) 4) 前立腺腫瘍 5) 前立腺肥大 6) 腎・尿路結石症 7) 排尿障害 (過活動膀胱・腹圧性尿失禁) 2 検査と治療 1) 静脈性尿路造影 2) 尿流動態検査 3) 膀胱鏡 4) 腎生検 5) 膀胱切除術 6) 透析 7) 腎移植	
まとめ・試験	2			

科目 疾病と治療Ⅱ 1単位 (30時間)

科目目標：自己免疫・内分泌代謝・消化器の代表的な疾病の病態生理と治療を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
自己免疫の疾病と治療	4	自己免疫系に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる	1 自己免疫の疾病 1) 全身性エリテマトーデス (SLE) 2) 慢性関節リウマチ 3) シェーグレン症候群 4) その他の疾患 強皮症 多発性筋炎 2 検査と治療 1) 病理組織学的検査 2) 副腎皮質ステロイド薬 3) 免疫抑制薬 4) 抗リウマチ薬 5) 生物学的製剤	医師
内分泌代謝の疾病と治療	10	内分泌代謝系に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる	1 内分泌代謝の疾病 1) 糖尿病 2) 脂質異常症 3) パセドウ病 4) クッシング症候群 5) 褐色細胞腫 6) 下垂体機能亢進 2 検査と治療 1) ホルモン負荷試験 2) 糖尿病内服薬 3) インスリン療法 4) インクレチン関連薬 5) ホルモン療法 6) 甲状腺切除術	
消化器の疾病と治療	14	消化器系に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる	1 消化器の疾病 1) 胃・十二指腸潰瘍 2) 逆流性食道炎 3) 食道がん 4) 胃がん 5) 大腸がん 6) イレウス 7) 潰瘍性大腸炎 8) クローン病 9) 胆石 10) 膵炎 11) 膵臓がん 12) 肝炎 13) 肝硬変 14) 肝臓がん	

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
まとめ・試験	2		2 検査と治療 1) 内視鏡検査（上部、下部） 2) 消化管造影（上部、下部） 3) 内視鏡的逆行性胆管膵管造影法 (ERCP) 4) 肝生検 5) 経皮経管胆管ドレナージ (PTCD)、 経皮経管胆のうドレナージ (PTGBD) 6) 肝庇護療法 7) インターフェロン療法 8) 肝動脈塞栓術 (TAE) 9) 食道静脈硬化療法 (EIS) 10) 腹腔鏡下切除術 11) 人工肛門造設術	

科目 疾病と治療Ⅲ 1単位 (30時間)

科目目標：脳神経・運動器の代表的な疾病の病態生理と治療を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
脳神経の疾患 と治療	16	脳神経系に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎知識を理解できる	1 脳神経系の疾病 1) 脳血管障害 (1) 脳梗塞 (2) 脳内出血 (3) 脳動脈瘤 (4) くも膜下出血 (5) もやもや病 2) 脳腫瘍 3) 脳神経変性・脱髄疾患 (1) パーキンソン病 (2) 多発性硬化症 4) 認知症 (1) アルツハイマー型 (2) 脳血管性 (3) レビー小体型 5) 頭部外傷 6) 感染症 (1) 髄膜炎・脳炎 7) 神経・筋疾患 (1) 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) (2) 筋ジストロフィー (3) 重症筋無力症 8) 頭蓋内圧亢進症 9) 末梢神経障害 (1) ギラン・バレー症候群 2 脳神経系の疾病を診断する主な検査 1) 脳血管造影 2) CT 3) MRI 4) 腰椎穿刺 5) 神経学的検査 3 脳神経系の疾病の主な治療 1) 血管内治療 (1) 血栓溶解法 (2) 動脈瘤塞栓術 2) 開頭術・穿頭術 3) 血管バイパス術 4) 脳室ドレナージ 5) V-Pシャント術 6) リハビリテーション	医師

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
運動器の疾病 と治療	12	運動器系に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎知識を理解できる	1 運動器系の疾病 1) 先天性疾患（先天性股関節脱臼） 2) 骨粗鬆症 3) 骨折・脱臼 4) 炎症性疾患（骨髄炎） 5) 腫瘍（骨肉種） 6) 脊椎疾患 (1) 脊髄損傷 7) 変形性関節症 8) 腰椎症 (1) 椎間板ヘルニア (2) 腰部脊柱管狭窄症 9) 筋・腱・靭帯の損傷（半月板損傷） 2 運動器系の疾病を診断する主な検査 1) X線検査 2) RI 3) 各種造影 4) 筋電図 5) 視診・知覚検査 6) 関節鏡 3 運動器系の疾病の主な治療 1) 手術療法 2) リハビリテーション 3) 装具 (1) 牽引 (2) ギブス固定 4) 義肢	
まとめ・試験	2			

科目 疾病と治療Ⅳ 1単位 (30時間)

科目目標：感覚器・歯口腔・造血器・女性生殖器の代表的な疾病の病態生理と治療を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
感覚器の疾病 と治療	4	1 耳鼻咽頭に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病及び治療に関する基礎的知識を理解できる	1 耳鼻咽喉の疾病 1) 副鼻腔炎 2) 上顎洞炎 3) メニエール病 4) 中耳炎 5) 突発性難聴 6) 咽頭・喉頭がん 2 検査と治療 1) オージオメータ検査 2) 鼻腔内視鏡検査 3) 鼓室形成術	医師
	4	2 皮膚に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病及び治療に関する基礎的知識を理解できる	1 皮膚の疾病 1) 熱傷 2) 湿疹 3) アトピー性皮膚炎 4) 帯状疱疹 5) 疥癬 2 検査と治療 1) パッチテスト 2) 病理組織法検査	
	4	3 眼に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病及び治療に関する基礎的知識を理解できる	1 眼の疾病 1) 近視・遠視・乱視 2) 結膜炎 3) 白内障 4) 緑内障 5) 網膜剥離 6) 糖尿病性網膜症 2 検査と治療 1) 眼底検査 2) 眼底光凝固療法 3) 網膜剥離治療 4) 人工眼内レンズ挿入術	
歯・口腔の疾病 と治療	2	歯・口腔系に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病及び治療に関する基礎的知識を理解できる	1 歯・口腔の疾病 1) 齲蝕(う蝕) 2) 歯周病 2 検査と治療 1) 歯科補綴治療 2) 歯周治療	

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
造血器の疾病 と治療	10	造血器系に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病及び治療に関する基礎的知識を理解できる	1 血液・造血器系の疾病 1) 貧血 2) 白血病 3) 骨髄異形成症候群 4) 特発性血小板減少性紫斑病 5) 悪性リンパ腫 6) 多発性骨髄腫 2 検査と治療 1) 骨髄穿刺 2) 免疫抑制剤 3) 抗がん剤	
女性生殖器の 疾病と治療	4	女性生殖器系に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病及び治療に関する基礎的知識を理解できる	1 女性生殖器の疾病 1) 子宮筋腫 2) 子宮がん 3) 子宮内膜症 4) 卵巣腫瘍 5) 乳がん 6) 性感染症 7) 不妊症 2 検査と治療 1) 内診 2) 細胞診 3) 試験穿刺 4) 画像検査 5) 腫瘍マーカー 6) 不妊検査 7) 薬物療法 (ホルモン検査) 8) 手術療法	
まとめ・試験	2			

科目 薬理学 1単位 (30時間)

科目目標：薬理作用の基本と主な薬物の特徴を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
薬理学総論	8	薬理作用の基礎知識に基づき、薬物の特徴・作用機序・人体への影響および薬物の管理について理解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1 薬物治療の目ざすもの 2 薬理作用の基本 3 薬物の体内動態（吸収・分布・代謝・排泄） 4 薬物の相互作用 5 薬効に影響する因子 6 薬物の作用と副作用（有害事象） 7 医薬品の安全対策 8 薬と法律 9 薬の管理 10 新薬の開発 	薬剤師
薬理学各論	20	主な薬物の特徴について理解できる	<ol style="list-style-type: none"> 1 抗感染症薬 2 抗がん薬 3 免疫治療薬 4 抗アレルギー薬・抗炎症薬 5 末梢での神経活動に作用する薬物 6 中枢神経に作用する薬物 7 心臓・血管系に作用する薬物 8 呼吸器・消化器に作用する薬物 9 物質代謝に作用する薬物 10 皮膚外用薬 11 救急の際に使用される薬物 12 消毒薬 13 輸液製剤・輸血剤 14 漢方薬 	
まとめ・試験	2			

科目 治療論 I 1 単位 (30 時間)

科目目標：疾病の回復を促進するための代表的な治療や検査を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
検査	6	疾病の診断過程と検査について理解できる	1 臨床検査の種類 2 検査成績の見方・考え方 3 検体の採取法とその取り扱い方 1) 一般検査 (尿・便・痰・脳脊髄液・骨髄液) 2) 血液検査 4 生理機能検査 5 超音波検査	臨床検査技師
麻酔	6	麻酔の原理と管理について理解できる	1 麻酔の種類 1) 全身麻酔 (1) 吸入麻酔 (2) 静脈麻酔 (3) ニューロレプト麻酔 2) 局所麻酔 (1) 脊髄クモ膜下麻酔 (2) 硬膜外麻酔 (3) 伝達麻酔 (4) 浸潤麻酔 (5) 表面麻酔 2 麻酔導入から覚醒までの管理 1) 麻酔導入時の管理 (1) 気管確保法 (2) 麻酔導入法 2) 術中の管理 (モニタリング含む) (1) 呼吸・循環管理 (2) 体温管理 (3) 覚醒時の管理 3) 麻酔覚醒時の管理 (1) 麻酔覚醒のプロセス (2) 呼吸・循環管理 3 麻酔の効果 (ペインクリニック) と二次的障害	医師
手術療法	10	疾病の回復を促進する手術療法を理解できる	1 手術療法の目的と意義 2 手術侵襲と生体反応 3 術前管理 1) 手術の危険因子 2) 身体準備 4 術後管理 1) 創傷管理 2) 合併症の管理	

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
放射線療法	4	放射線を用いた画像診断と、疾病の回復を促進するための放射線治療を理解できる	5 低侵襲治療 1) 内視鏡ガイド下の治療 2) 画像ガイド下の治療 1 放射線の原理と基礎 2 画像診断 (X線・CT・MRI・核医学検査) 3 放射線療法 1) 放射線治療の原理 2) 放射線治療の種類 3) 放射線治療の実際 4 放射線障害と放射線防御	
ME機器	2	ME機器の取り扱いと管理について理解できる	1 医療機器を使用する環境 1) 電気的安全性 2) 医療ガス設備 2 測定用医療機器の原理と実際 1) 心電図モニタ 2) 観血的血圧計 3) パルスオキシメータ 3 治療用医療機器の原理と実際 1) 除細動器 2) 吸引装置 3) 人工呼吸器	臨床工学技士
まとめ・試験	2			

科目 治療論Ⅱ 1単位 (30時間)

科目目標：1 健康にとっての食事・栄養の意義と食事療法について理解する
2 リハビリテーションの概念と実際について理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
栄養と健康	14	健康にとっての栄養・食事の意義が理解できる	1 栄養と健康 1) 国民の栄養の現状 2) 食生活と栄養 3) 栄養評価 4) 過栄養	管理栄養士
食事療法		食事療法について基礎的理解ができる	1 食事療法 1) 病院食 2) 各健康障害と栄養 食事療法 (1) 糖尿病食 (2) 腎臓病食 3) 特殊栄養法 4) 栄養サポートチーム (NST : Nutrition Support Team)	
リハビリテーションの概念と実際	14	1 リハビリテーションの概念について理解できる 2 リハビリテーションを受ける対象について理解できる 3 リハビリテーションの実際について理解できる	1 リハビリテーションの概念 1) リハビリテーションの定義 2) リハビリテーションの理念 1 リハビリテーションの対象の理解 1) リハビリテーションの対象 2) 生活機能障害のアセスメント 1 リハビリテーションの実際 1) 障害に対するリハビリテーション 2) 社会的リハビリテーション (1) 理学療法の実際 (2) 作業療法の実際 (3) 言語聴覚療法の実際 (4) 心理療法の実際	理学療法士
まとめ・試験	2			

科目 公衆衛生と健康支援 1単位 (15時間)

科目目標：公衆衛生と健康支援について理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
健康と公衆衛生	4	健康と公衆衛生の基本的な内容について理解できる	1 健康と公衆衛生 1) 公衆衛生の概念 2) 健康と環境 3) 疫学的方法による健康の理解 2 健康指標と予防 1) 健康に関連した指標 2) 感染症法とその予防対策 3 生活環境の保全 1) 地球環境 2) 住環境 3) 食品管理および家庭用品 4) 廃棄物	医師
社会生活と公衆衛生	4	社会生活と公衆衛生について理解できる	1 生活基盤 1) 生活単位 (1) 人口動向 (少子高齢化、総人口の減少) (2) 家族 (世帯) 都市と農・漁村 (人口集中と過疎化) 2) 家庭生活の基本機能 (1) 生産・労働 (2) 教育・養育 (3) 保健・福祉 3) 労働と健康 (1) 就業構造 (2) 仕事と余暇 (3) 所得 (4) 労働基準法 (5) 育児・介護休業法	
健康支援と保健活動	6	健康支援に向けた保健活動について理解できる	1 保健活動 1) 地域保健 2) 精神保健 3) 学校保健 4) 上記以外の保健活動の基盤となる法や施策 (1) がん対策基本法 (2) 難病支援法 2 生活者の健康増進 1) 生活習慣病の予防 2) 職場の健康管理	
試験	1			

科目 医療と倫理 1単位 (15時間)

科目目標：医療現場における倫理的問題の現状と課題、看護倫理を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
医学・医療の 変遷と倫理	8	医学・医療のあゆみ と現代医療が抱える 人間の生命、尊厳に ついて理解できる	1 医学・医療のあゆみ 1) 現代医学の起源 2) 現代の医療 2 生命倫理 1) 医療と倫理 2) 医療における患者の権利 3) 生殖医療 4) 死の変容：脳死・臓器移植・尊厳死・安 楽死	
臨床現場にお ける倫理的課 題と看護倫理	6	臨床現場における倫 理的課題を検討し、 人々の権利擁護、看 護者の姿勢について 追求できる	1 臨床現場における倫理的ジレンマ 1) 看護職者の自律性と看護倫理 2) 倫理的意思決定 *事例検討	
試験	1			

科目 社会保障と制度 1単位 (15時間)

科目目標：社会保障の理念と基本的な制度の考え方について理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
社会保障の 理念	6	社会保障の理念につ いて理解できる	1 社会保障の理念 1) 社会保障の概念 2) 社会保障の目的・機能 3) 社会保障の体系・内容 2 日本の保健医療福祉活動の基本方向 1) 理念・憲法第 25 条 2) 倫理 3) ノーマライゼーション 4) 情報公開・地方分権・参加 5) 社会保障給付費・制度改革	社会福祉士
社会保険制度	8	社会保険の基本的な 制度について理解で きる	1 社会保険制度と改革 1) 社会保険の変遷 2) 医療保険制度 3) 介護保険制度 4) 年金制度 5) その他の社会保険制度 (1) 雇用保険 (2) 労働者災害補償制度	
試験	1			

科目 社会福祉活動 1単位 (15時間)

科目目標：生活者の生活問題に対する社会福祉制度と今後の課題について理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
社会福祉に関する法や施策	6	生活者の生活問題に対する法律と施策について理解できる	1 社会福祉の援助対象と福祉ニーズ 2 社会福祉諸法の理念と施策 1) 社会福祉の理念と変遷 2) 生活保護に関する法や施策 3) 障害者(児)に関する法や施策 4) 児童に関する法や施策 5) 高齢者に関する法や施策 6) その他の法や施策 (1) DV 防止法 (2) 少子化対策・次世代育成支援 (3) 依存症対策	社会福祉士
社会福祉援助	4	社会福祉援助について理解できる	1 社会福祉援助の方法 1) 社会福祉技術の種類 2) 社会福祉援助の視点・原理・方法	
社会福祉行政	4	社会福祉行政と今後の課題について理解できる	1 社会福祉行政 1) 保健福祉計画 2) 社会福祉に関わる機関と機能 3) 老人保健福祉行政の展開	
試験	1			

科目 医療と法律 1単位 (15時間)

科目目標：人々の健康を守るためのサービス提供機関と従事者の役割・機能に関する基本的な法律について理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
医療と法律の 概念	2	法の知識と法令、厚生行政について理解できる	1 法の知識と法令について 1) 法の概念 2 厚生行政のしくみ 1) 厚生労働省の任務 2) 厚生労働省の組織と関係法規	
医療に関する 法律	12	サービス提供機関と医療従事者の職務の機能と役割に関する法律について理解できる	1 医療や社会福祉関連職に関する法 1) 医事法 (1) 医療法 (2) 歯科医師法 (3) 医師法 (4) 薬剤師法 (5) 診療放射線技師法 (6) 臨床検査技師等に関する法律 (7) 理学療法士法、作業療法士法、言語聴覚士法 (8) 社会福祉士法、介護福祉士法、精神保健福祉士法 (9) 栄養士法 2) 保健衛生法 3) 薬務法 4) 環境衛生法規 2 看護職に関する法 1) 保健師助産師看護師法 2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律 3 労働法 4 サービスの提供機関と体制 1) 医療計画 2) 医療提供施設 3) 助産所 4) 訪問看護ステーション 5) 地域包括支援センター 6) 救急医療 7) 診療記録と情報公開	
試験	1			

科目 看護と医療過誤 1単位 (15時間)

科目目標：医療過誤における看護業務と看護師の法的責任を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
医療事故と法的責任	6	医療従事者としての業務上の法的責任を理解できる	1 医療事故と法的責任 1) 法的責任 (1) 医療事故・医療過誤とは (2) 民事上の責任 (3) 刑事上の責任 (4) 行政上の責任 (5) 結果予見、結果回避義務 2) 医療事故（事例）	看護師
看護の保障と医療過誤	8	医療過誤における法的責任を知ることにより、医療従事者としての業務と責任を自覚することができる	1 病院における看護の保障と関係法規 1) 療養上の世話業務における事故 2) チーム医療と看護職の責任 3) 看護記録 4) 報告義務 5) 安全配慮義務 6) 継続看護における個人情報の取り扱い 7) 診療の補助行為に伴う事故 8) 医療過誤（事例） 2 看護学生の臨地実習と関係法規	
試験	1			